

## 沖縄・那覇 & 知念半島紀行

事務局長 池田良穂

11月27日に那覇で、沖縄初の「沖縄クルーズカンファレンス及びクルーズセミナー・商談会」が沖縄県と沖縄観光コンベンションビューローの主催で開催されました。そのパネルディスカッション「クルーズによる沖縄観光振興及び地域経済への貢献～フライ&クルーズの可能性について～」のパネリストとして参加する機会に恵まれました。

その会議の内容については追って報告をしたいと思っておりますが、まずは、その時のシブウォッチングの報告です。

那覇空港に到着すると、快晴で気温は28°でした。ちょうどクルーズ岸壁にはゲンチンクルーズの16万総トン型船の第2船である「ワールド・ドリーム」が停泊していました。泊大橋の上や海空公園の一角等の様々な角度から同船をウォッチング。

国際通り等には同船の乗客が溢れていました。南沙発着の沖縄クルーズで、那覇と宮古島への寄港でした。那覇の出港は夜の9時過ぎということで、夜まで那覇の街を楽しめるようになっており、寄港地の経済波及効果も増加しているよう。利用したタクシーの運転手さんは「クルーズさまさまだね!!」とのことで、ただ「言葉の問題が! 何度聞いても目的地がわからないことも・・・」とのことでしたので、「中国の乗客なので漢字の筆談だといいいのでは」とアドバイスしておきました。

会議の合間に、知念半島の安座間港までタクシーで往復して、久高島航路の高速船「ニューくだかⅢ」と、今年就航の新造アルミ製カーフェリー「フェリーくだかⅢ」も見してきました。安里港のターミナル内の受付の女性によると、「せっかく新造したばかりなのに、先日の台風で岸壁にあたって傷物になってしまったさ!!」とのこと。見た限りではそう大きな損傷ではないようでしたが。



① 那覇空港に着陸する直前、建設中の第2滑走路が見えました。拡張される那覇空港を活用してのフライ&クルーズの振興が、今回の会議のメインテーマでした。



② 泊のクルーズターミナルには「ワールド・ドリーム」が停泊していました。



③ 「ワールド・ドリーム」をいろいろな方角から撮影してみました。



④ 会議の合間に知念半島の安座間港にでかけました。神の島といわれる久高島への便がでています。



⑤ 高速船「ニューくだかⅢ」が出港するのを見ることができました。



⑥ 久高島から「フェリーくだかⅢ」が戻ってきました。



⑦ 入港する「フェリーくだかⅢ」です。ちょうど雲が広がってしまい暗い写真になりました。



⑧ 着岸時の「フェリーくだかⅢ」です。島からの最終便だったので車も旅客もたくさん乗っていました。建造はツネイシクラフト&ファンリティーズ。89 総トンで、14 ノット。普通フェリーでは珍しいアルミ製です。